

難治性角結膜疾患に対する 自己培養口腔粘膜上皮シート移植の臨床試験

プロジェクトリーダー 西田 幸二
大阪大学大学院眼科学教室
東京女子医科大学先端生命研究所
大阪大学未来医療センター代謝内分泌部門

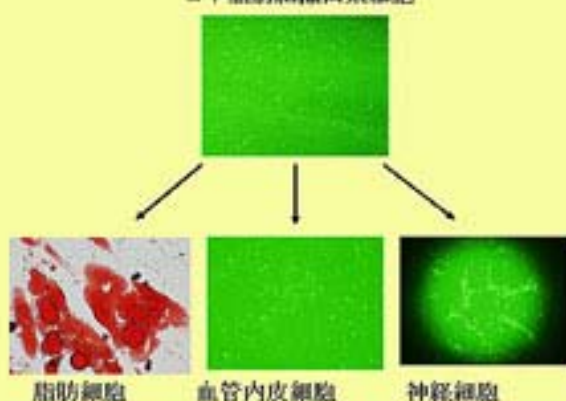
- 角膜疾患の主な治療は角膜移植である。
- 現在の角膜移植の大きな問題点として、術後に生じる免疫拒絶反応とドナー角膜の不足がある。
- 角膜上皮疾患では、拒絶反応が必発するため、これまでの角膜移植の予後は不良である。

- 我々が開発した培養細胞シート移植では、角膜移植における拒絶反応の問題とドナー角膜不足の問題を克服できる可能性がある。

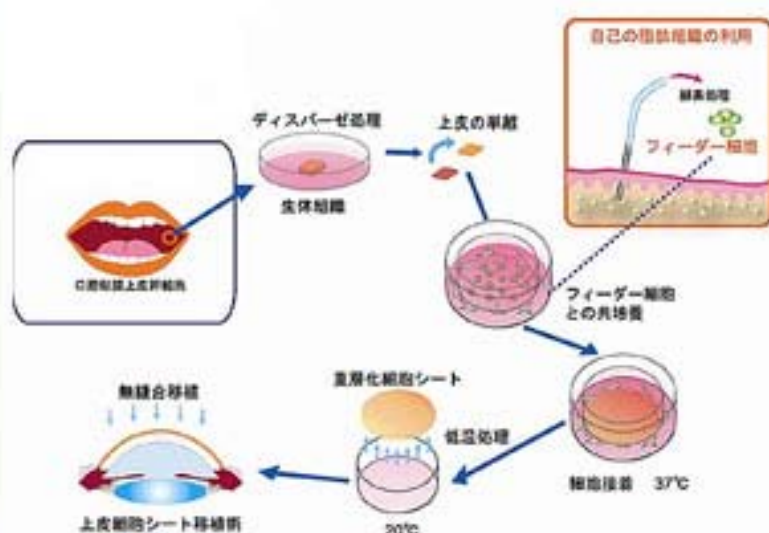


臓器・組織移植 → 再生医療
アロ角膜上皮移植 → 培養上皮細胞移植
拒絶反応
ドナー角膜不足

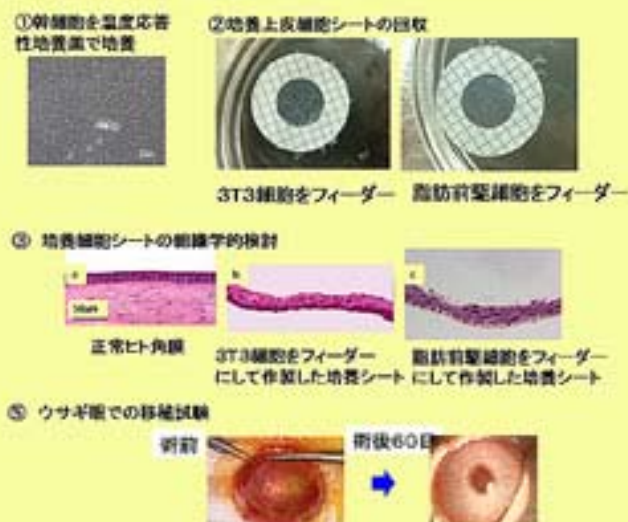
ヒト脂肪組織由来細胞



3T3以外のオートのフィーダー細胞の開発
阪大眼科(西田)と未来医療センター(前田)
脂肪組織由来細胞をフィーダーとして用いる



前臨床試験での結果



未来医療センターで承認(平成16年3月30日)